

質問回答

NO.	質問	回答
1	業務内容（6）作業準備の項目で、土壌調査に関し、「12メッシュのうち、一部は建物が残っている箇所が3か所程度あり、この場所については環境省担当官に確認し、土壌試料採取地点を設定すること」とありますが、この3か所程度の採取箇所は裸地と考えてよろしいでしょうか。	現在は、物置が設置されている状況であり、施工業者が撤去後、裸地になったところで土壌採取していただくことになります。
2	業務内容（6）作業準備の項目で、「土壌調査の現場確認は、安全確認調査の現場確認とは別に1日程度を想定している」とありますが、土壌調査の現場確認はどのタイミングで行うのでしょうか。安全確認調査完了後に行うのでしょうか。	施工業者と請負業者間で別途調整することになりますが、実質的には、前1項の裸地になった後の話なので、安全確認調査後になると見込んでおります。
3	業務内容（7）安全確認調査等の項目で、「②掘削作業時における連続的な化学剤の有無の確認」とありますが、土壌調査の際には、安全確認調査で安全が担保されており、連続的な化学剤の有無の確認は必要ないとの理解でよろしいでしょうか。	土壌調査の12か所の内、今回の安全確認調査の範囲外の10mメッシュの部分2か所あり、こちらは、アスファルトをコア抜きしたところだけになりますので、この2か所だけは連続的な化学剤の有無を確認することになります。
4	業務内容（7）安全確認調査等の項目で、「裸地化に係る撤去等作業に要する期間は10日間程度を想定している」とありますが、この日数に金属探知機及びレーダー探査機の調査は含まれていないとの理解でよろしいでしょうか。	アスファルトと破石の大半を取り除いたところから業務を開始し、請負業者の目視による監視の中、最後の破石の部分を取り除いたところから金属探査、レーダー探査する流れになると考えており、同時進行的な探査となることから、日数の中に調査も含まれています。
5	本業務の掘削工事の予定はいつ頃でしょうか。	細部は、事前の現地打合せの時に決まりますが、今のところ、10月最終週からと聞いております。
6	土壌採取箇所計12箇所は、コンクリートカッター等での表層処理が必要でしょうか。 土壌採取箇所の表層の状況を教えてくださいませんか。	コンクリートカッター等での表層処理は必要ありません。土壌採取の際の表層の状況は、12箇所のうち、9箇所は掘削に伴う安全確認調査後で裸地になっており、3箇所が施工業者によるアスファルトのコア抜き後になります。
7	金属探知器及びレーダー探知機による探査は、それぞれ地表面より何cm程度までの範囲を探査すればよろしいでしょうか。	金属探知機による探査は地表面より50cmまでの探査、レーダー探知機による探査は地表面より3mまでの探査になります。
8	本業務の掘削工事の予定はいつ頃でしょうか。	細部は、事前の現地打合せの時に決まりますが、今のところ、10月最終週からと聞いております。